



fitbit flyer



ユーザーマニュアル
バージョン 1.1

目次

はじめに	5
同梱品の確認	5
マニュアルの内容	5
Fitbit Flyer のセットアップ	6
電源を入れる	6
デバイスへの接続	6
Fitbit Ionic への接続	7
言語設定の変更	8
フィット感の調節	10
イヤーチップの選択	10
ウイングまたはフィンの選択	10
ヘッドホンの着用	12
コントローラーの使用方法	13
音量	13
マイク	13
パワーブースト	14
オーディオ再生	15
通話着信	15
電池寿命および充電方法	16
バッテリー残量の確認	16
Flyer の充電方法	17
Flyer の登録を消去する	18
着用とお手入れ	19
イヤーチップ、ウイング、フィン	19

Fitbit Flyer 本体	19
Fitbit Flyer の一般情報と仕様.....	20
素材.....	20
ワイヤレス テクノロジー	20
電池.....	20
サイズ.....	20
オーディオ	20
環境条件	20
警告.....	21
詳細情報	21
返品ポリシーおよび保証.....	21
規制および安全通知.....	22
アメリカ：連邦通信委員会 (FCC) 規則.....	22
カナダ：カナダ産業省 (IC) 規制.....	23
EU（欧州連合）	23
安全の説明	24
周波数情報	24
オーストラリアおよびニュージーランド	24
中国.....	25
メキシコ	25
日本.....	26
オマーン	26
フィリピン	26
セルビア	26
シンガポール	27
南アフリカ	27

韓国.....	27
台湾.....	27
アラブ首長国連邦.....	28

はじめに

Fitbit Flyer をお買い上げ頂き、ありがとうございます。Flyer は、キレイのあるサウンドとパワフルな低音、快適、防汗、安定した付け心地などの特長が詰まった、ワークアウト用ワイヤレスヘッドホンです。安全情報をこちらから <http://www.fitbit.com/safety> ご覧ください。

同梱品の確認

Fitbit Flyer の同梱物：



Fitbit Flyer ワイヤレスヘッドホン



カスタマイズ可能なイヤーチップ3組



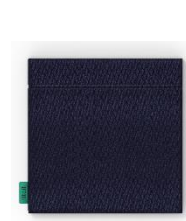
カスタマイズ可能なウイング2組



カスタマイズ可能なフィン2組



充電ケーブル



ヘッドホン携帯ケース

マニュアルの内容

はじめに、Flyer とオーディオ機器との接続方法について説明します。ヘッドホンをカスタマイズして最適な組み合わせを見つけたら、音声の聞き取りと着信への応答準備は完了です。

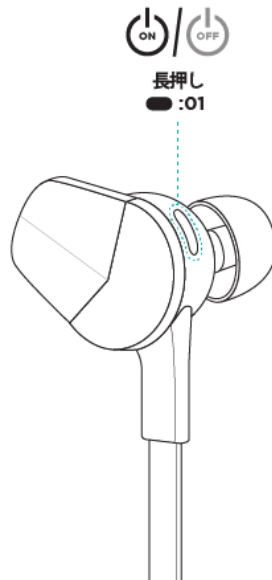
次に、設定の調整、デバイスの追加接続、および Flyer を最大限に活用する方法を説明します。詳細情報、ヒントやトラブルシューティングは、総合ウェブサイト help.fitbit.com をご覧ください。

Fitbit Flyer のセットアップ

Flyer は Bluetooth®対応デバイスに接続する必要があります。Flyer を接続すると、オーディオを再生したり、ヘッドホンで着信に応答できるようになります。

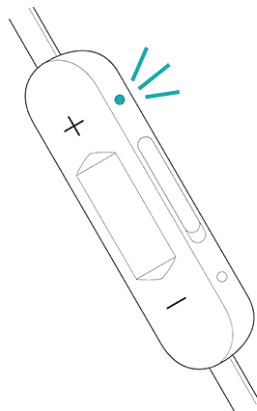
電源を入れる

Flyer の電源を入れるには、LED が点灯するまで電源ボタンを押し続けます。Flyer の電源が入らない場合は、最初に充電する必要があります。充電方法については、「[Flyer の充電方法](#)」を参照してください。



デバイスへの接続

Flyer をデバイスとペアリングするには、ヘッドホンをペアリングモード（青色のライトが点滅）にする必要があります。



Flyer の初回起動時は自動的にペアリングモードに移行するので、手順 2 にスキップできません。

以下の通りに Flyer を新しいデバイスにペアリングしてください

1. Flyer の電源をオンにする時は電源ボタンを 4 秒間押し続け、LED が青く点滅するまで待ちます。Flyer がペアリングモードになる前に電源ボタンを放すと、電源はオンになりますが、デバイスにペアリングされません。Flyer がペアリングモードに移行しない場合は、電源ボタンを 1 秒間押し続けて電源を切ってから、この手順をもう一度試してください。
2. お使いのデバイスで Bluetooth メニューを開き、Flyer を選択してください。Flyer とお持ちのデバイスが同期されていることを通知する音声がヘッドホンから聞こえるはずで

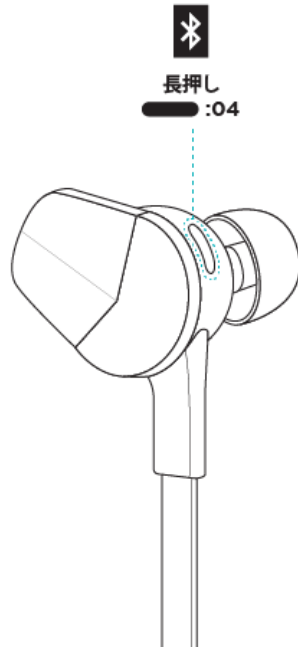
Flyer を新しいデバイスと同期すると、そのデバイスの情報が Flyer のメモリに保存されます。Flyer は、ヘッドホンがオンになった時にこのデバイスが近くにあると自動的に接続を試みます。Flyer には、スマートフォン、タブレット、スマートウォッチなど、最大 8 つの Bluetooth 対応デバイスを保存できます。Flyer のメモリ内に既に 8 台のデバイスがある状態で新しいデバイスをペアリングすると、いちばん最初にペアリングしたデバイスの情報が消去されます。

Flyer のメモリに保存されたデバイスのうち、同時に 2 つのデバイスに接続できます。つまり、接続中のいずれかのデバイスから音声を聞くか、着信に応答することができます。Flyer の電源をオンにすると、接続中のデバイス数が音声で通知されます。デバイスと Flyer が互いに近くなければ接続されません。一度に 1 つのデバイスからのみ音声を聴くことができます。接続中の 2 つのデバイスを切り替えるには、1 番目のデバイスの音声を一時停止してから、2 番目のデバイスのオーディオを再生します。Flyer とデバイスの接続についての詳細、およびトラブルシューティングのヒントは、help.fitbit.com を参照してください。

ご注意：Flyer が 2 台のデバイスに接続されている場合は、使用したいデバイス上の Bluetooth メニューを開き、接続中のデバイスのリストから Flyer を選択して、使用するデバイスを手動で切り替えることができます。

Fitbit Ionic への接続

Fitbit Ionic ウォッチをお持ちの場合は、Flyer に同期して、音楽やオーディオブック、ポッドキャストなどの音声を聴くことができます。Flyer とペアリングするには、ヘッドホンの電源ボタンを 4 秒間押し続けて電源オンにして、LED が青く点滅するまで待ちます。これは Flyer がペアリングモードになっていることを示します。



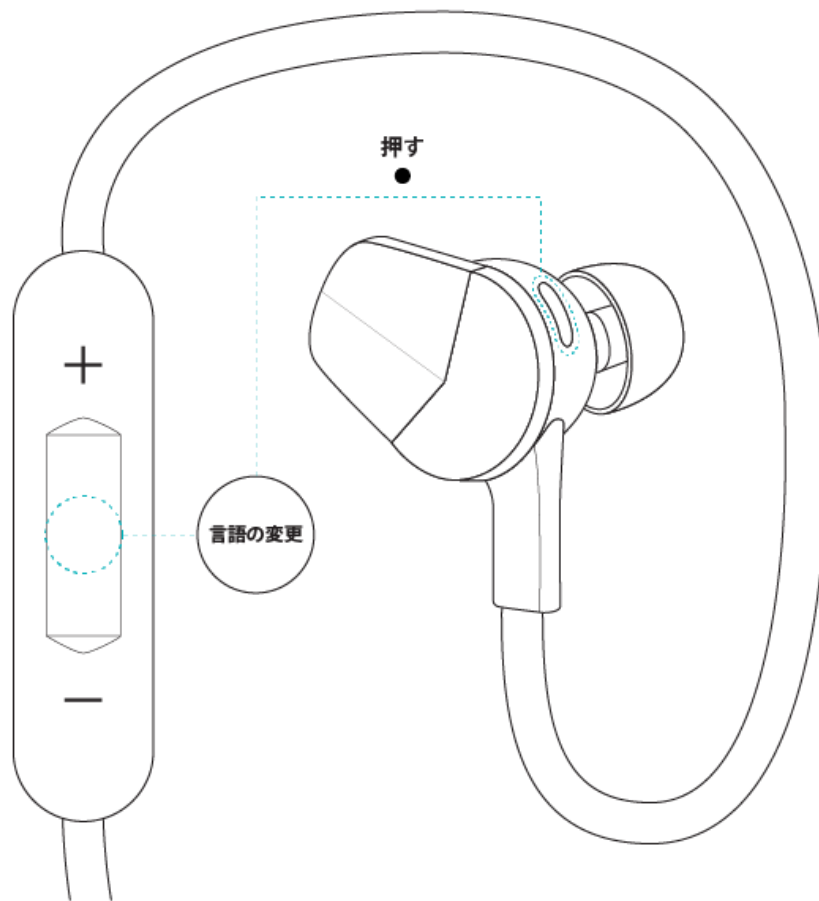
Flyer と Ionic をペアリングする方法は以下の通りです。

1. Ionic の画面上で [設定] アプリを開きます。
2. [Bluetooth] をタップします。
3. [+ 新規デバイス] をタップします。
4. Ionic が Flyer を検出したら、画面上で **Flyer** をタップしてヘッドホンを Ionic にペアリングします。ペアリングが完了すると、Ionic の画面上で緑色のチェックマークが表示され、Flyer を通して音声通知が再生されます。

ペアリング完了後、Flyer はヘッドホンがオンになった時にこのデバイスが近くにあると自動的に接続を試みます。2つのデバイスと接続できるようにするには、Ionic の画面をオンにして起動します。Flyer と Ionic の接続についての詳細、およびトラブルシューティングのヒントは、help.fitbit.com を参照してください。

言語設定の変更

Flyer は、電源のオン/オフ、現在のバッテリーレベル、ヘッドホンと接続中のデバイスの数など、さまざまな通知の音声プロンプトを発します。Flyer の初期言語設定は英語になっています。音声プロンプトの言語を変更するには、電源ボタンと選択ボタンを同時に押してください。この2つのボタンをもう一度同時に押すと、次の言語に切り替わります。



言語選択は、音声が一時停止していて、通話中でない場合にのみ操作できます。対応言語は以下の通りです。

1. 英語
2. フランス語
3. イタリア語
4. ドイツ語
5. スペイン語
6. 中国語
7. 韓国語
8. 日本語
9. 言語なし（トーンのみ）

フィット感の調節

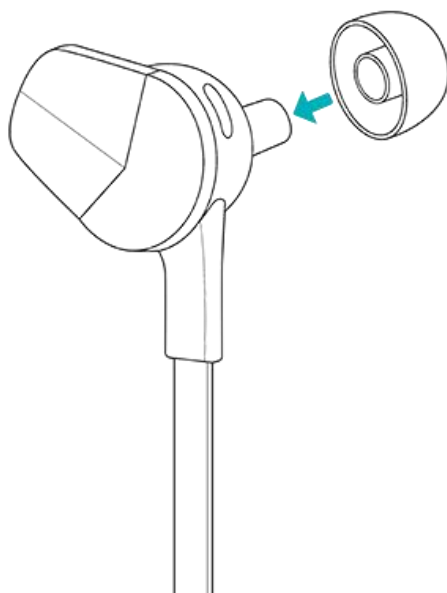
Flyerには、イヤーチップ、ウィング、フィンが付属しています。ヘッドホンを入る前に、イヤーチップとウィングまたはフィンを取り付けて、外れにくく着用感が快適なようにしましょう。

イヤーチップの選択

快適性と音質を最適な状態にするには、外耳道にぴったり収まるイヤーチップを選択する必要があります。Flyerには、大、中、小3種類のサイズのイヤーチップが付属しています。3つサイズをすべて試して、どのサイズが最適かを確認していただくことをおすすめします。外部からのノイズを低減するために外耳道でヘッドフォンを密閉するイヤーチップを選択し、全体的な音質を最適にしましょう。

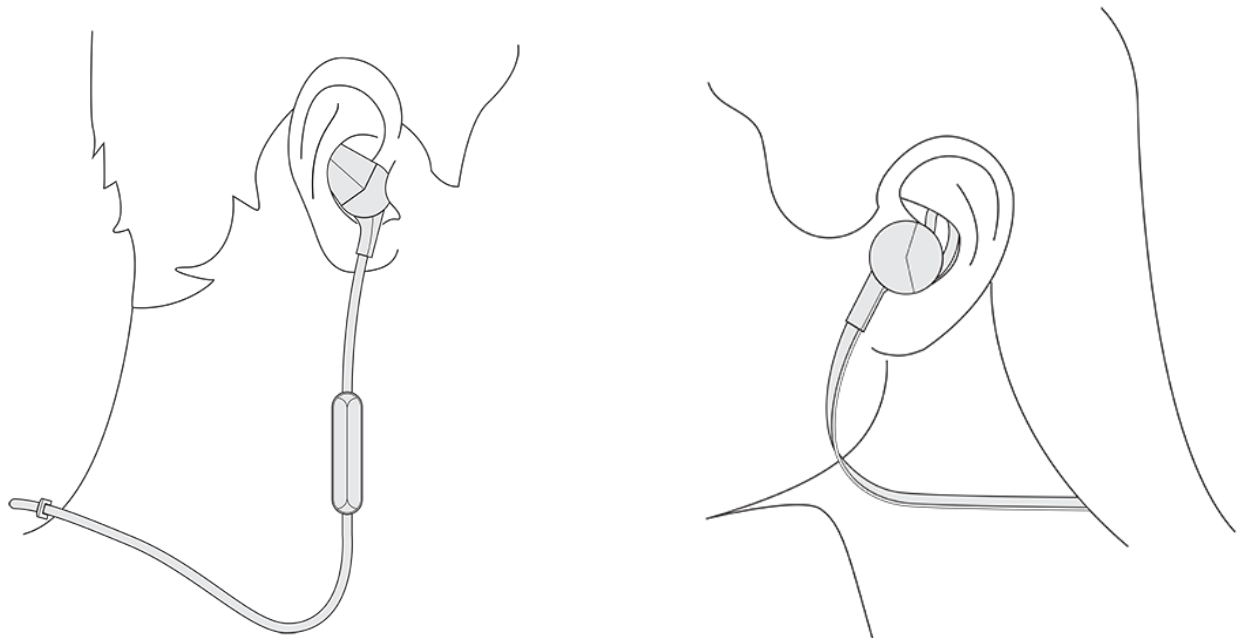
ご注意：右耳と左耳でサイズの異なるサイズのイヤーチップを選択することもできます。

イヤーチップを取り付けるには、一方の手でイヤホンを、もう一方の手でイヤーチップを持ちます。イヤーチップをイヤホンのステムに完全にはめ込まれるまで押し当てます。イヤーチップを取り外すには、イヤーチップを指ではさみ、引き抜きます。



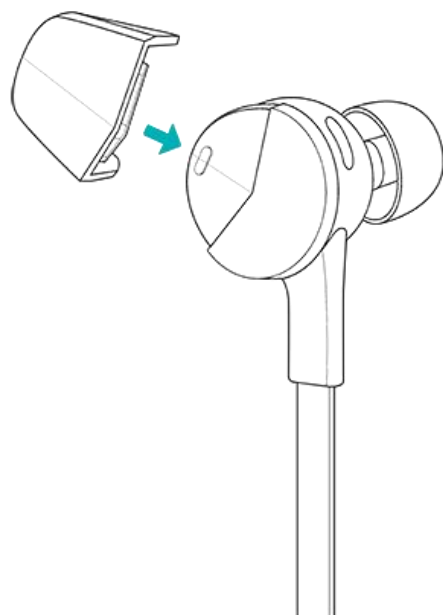
ウィングまたはフィンの選択

Flyerには、大小2種類のサイズのウィングとフィンがそれぞれ2組ずつ付属しています。最も快適で安定したフィット感が得られるものを見つけるには、ウィングとフィン両方のセットを試すことをおすすめします。ヘッドホンが定位置を保つために、ウィングとフィンの両方を耳の折り返しにはめ込む必要があります。



ウイングまたはフィンの取り付け方

1. ウイングまたはフィンの下端をイヤホンの丸型スロットに差し込みます。
2. ウイングまたはフィンの上部を押し込み、金属キャップの下に挿入します。正しく挿入すると、カチッという音がします。

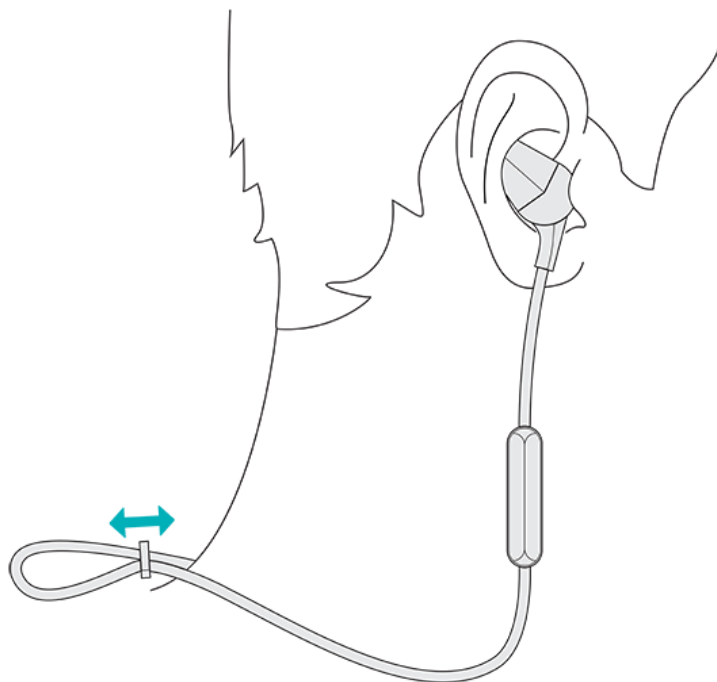


ウイングまたはフィンを取り外すには、指と指の間に底部を挟み、イヤホンから引き出して丸型スロットから外します。

ご注意：ヘッドホンが耳に正しく入っていない場合は、左右のフィンを取り替えてみてください。

ヘッドホンの着用

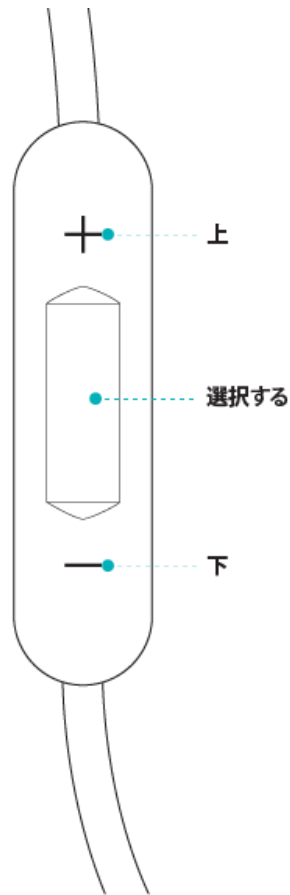
適切なフィンまたはウィングを選択したら、Flyer のコードを首の後ろに回し、操作は右側のコントローラーを使用して行うことをおすすめします。スライド式ケーブルクリップを調節して、ヘッドホンをしっかりと固定します。



フィット感の調節と Flyer の着用方法の詳細については、help.fitbit.com を参照してください。

コントローラーの使用方法

Flyer のコントロールボックスにはボタンが3個あります。このボタンを使用して、オーディオと通話着信をコントロールします。



音量

上下のボタンを使用して、オーディオおよび通話の音量を制御します（下図参照）。

機能	動作
音量を上げる	上ボタンを押す
音量を下げる	下ボタンを押す

マイク

Siri、Google Assistant、Cortana などの音声アシスタントを使用して Flyer をお使いのスマートフォンに接続すると、近くにスマートフォンがある場合に、Flyer のマイクで音声アシス

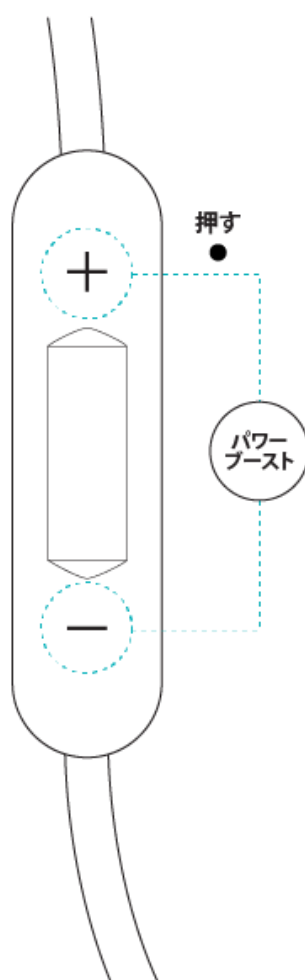
タントを理由できません。通話中は音声アシスタントを利用できません。スマートフォンの音声アシスタントへのアクセス方法については、下の表を参照してください。

機能	動作
音声アシスタントをオンにする	セレクトボタンを押し続ける
音声アシスタントをオフにする	セレクトボタンを押し続ける

音声アシスタントをオンにすると、Flyer のマイクが使用者の声を拾い上げ、スマートフォンで直接通話しているかのように使用できます。Flyer で音声アシスタントを利用する方法の詳細については、help.fitbit.com を参照してください。

パワーブースト

パワーブーストを使用すると楽曲の音質が向上します。この設定をオンまたはオフにするには、上/下ボタンを同時に軽く押します。



パワーブーストのオン／オフが切り替わると、音声通知が発信されます。Flyer は、再度変更を行うまで、そのパワーブースト設定を適用します。パワーブーストをオフにすると、バッテリー消費を節約できます。パワーブーストの詳細については、help.fitbit.com を参照してください。

オーディオ再生

音楽を聞くには、Flyer に接続したデバイスで「再生」を押します。オーディオ再生が開始したら、Flyer を使用して制御します（下の表を参照）。

機能	動作
一時停止／再開	セレクトボタンを押す
次の曲	上ボタンを押し続ける セレクトボタンを 2 回押す
前の曲	下ボタンを押し続ける またはセレクトボタンを 3 回押す

通話着信

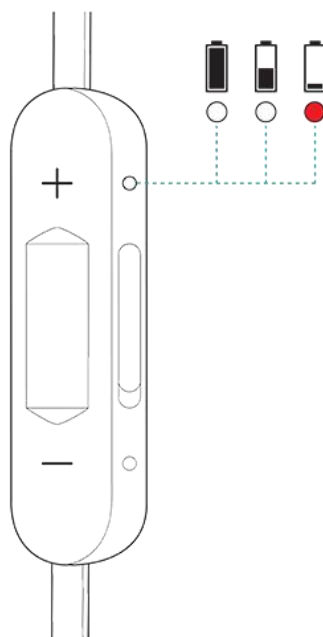
Flyer とスマートフォンが接続している場合は、Flyer を使用して、着信に応答するか、拒否するか、通話を切り替えることができます。着信が来たときにスマートフォンで音楽が再生されている場合、音楽は自動的に一時停止され、電話に出ることができます。Flyer から通話をコントロールする方法については、下記の表を参照してください。

機能	動作
電話着信に応答する	セレクトボタンを押す
電話着信を拒否する	下ボタンを押し続ける
通話を終了する	セレクトボタンを押し続ける
他の着信に切り替える (現在の通話は保留となります)	セレクトボタンを押す
他の着信に切り替える (現在の通話は終了します)	セレクトボタンを押し続ける
着信を拒否する (現在の通話を続けます)	下ボタンを押し続ける

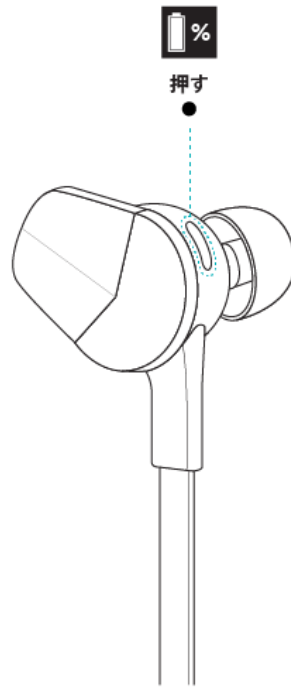
電池寿命および充電方法

バッテリー残量の確認

Flyer をオンまたはオフにする時、バッテリー残量インジケータが点灯し、音声通知が発信されます。



Flyer の電源がオンになっている間は、電源ボタンを短く押せば、いつでもバッテリー残量を確認できます。



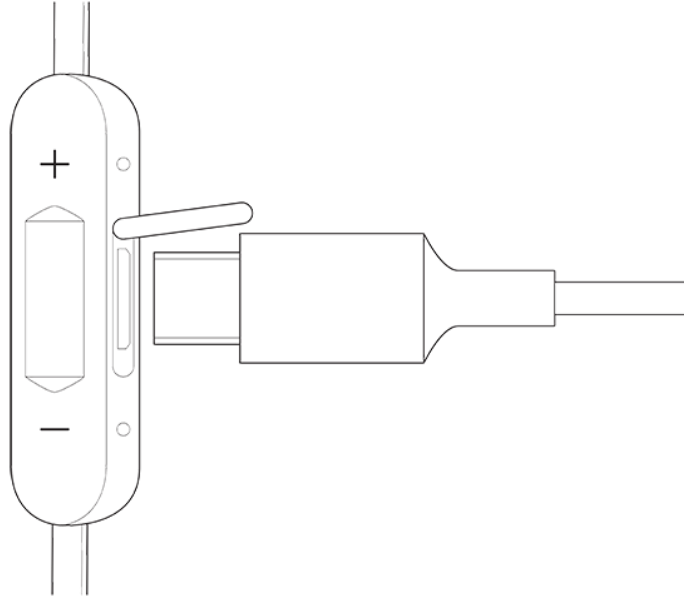
ほとんどのデバイスで、Flyer のバッテリーレベルは接続中のデバイスの画面に表示されます。Flyer が Ionic と接続している場合は、Ionic のショートカット画面でバッテリー残量を確認できます（時計画面から右にスワイプ）。

バッテリー残量が「少ない」または「非常に少ない」の場合、LED は赤色に変わり、バッテリーが少なくなったことをお知らせの音声プロンプトが発信されます。LED 各色の意味については、下の表を参照してください。

LED の色	バッテリー残量	音声通知
白色のライト	充電済み	「フル充電」
白色のライト	中	「バッテリー残量中」
赤色のライト	低	「バッテリー残量が少ない」
赤色のライトが点滅している	著しく低下	「バッテリー残量が非常に少ない」

Flyer の充電方法

Flyer を充電するには、マイクロ USB 2.0 充電ケーブルを Flyer のカバー下にある充電ポートに差し込み、充電ケーブルをコンピュータの USB ポートまたは UL 規格認証済みの USB ウォールチャージャーに差し込みます。



Flyer が充電中の場合、LED の色は現在の充電レベルに応じて変わります。LED が白色の場合、ヘッドホンは完全に充電されています。完全充電には最大 2 時間かかります。Flyer の充電中の LED 各色の意味については、下の表を参照してください。

LED の色	バッテリー残量
白色のライト	完全充電
黄色のライト	中
赤色のライト	低

Flyer の登録を消去する

Flyer の登録を消去すると、ペアリングされたすべてのデバイスがメモリから消去され、音声プロンプトや通知の言語が英語に設定されます。Flyer の登録を消去するには、以下の順番でボタンを押します：

1. 上
2. 下
3. 上
4. 下
5. 上
6. セレクト

登録の消去が完了すると、LED が 5 回白く点滅し、Flyer の電源がオフになります。

着用とお手入れ

Flyer は時おりクリーニングする必要があります。手順や詳細については、<https://www.fitbit.com/productcare> を参照してください。

イヤーチップ、ウィング、フィン

イヤーチップやウィングやフィンをデバイスから取り外し、水や濡れた布で汚れを拭き取ってください。水以外の液体は使用しないでください。ヘッドホンに取り付けなおす前に完全に乾かしてください。

Fitbit Flyer 本体

柔らかく水気を含んだ布でヘッドホンの汚れを拭き取ってください。水以外の液体は使用しないでください。ヘッドホンは雨、汗、水しぶきに耐えられるよう設計されていますが、水に浸さないでください。

保管温度

-22°~-4° F
(-30°~-20° C)

113°~140° F
(45°~60° C)

防水性能

水しぶきによる浸水を防ぎます。水に浸さないでください。

警告



聴覚に問題を生じさせないためにも、長時間、大音量でオーディオを聞き続けないようにしてください。

バッテリーはご自身で交換しないようにしてください。バッテリーが破損し、熱くなりすぎたり、けがの原因になったりします。

詳細情報

Flyer のトラブルシューティングとヘルプは、help.fitbit.com で検索してください。

返品ポリシーおよび保証

保証情報と Fitbit.com ストア返品ポリシーは、fitbit.com/returns で検索してください。

規制および安全通知

モデル名：FB205

アメリカ：連邦通信委員会 (FCC) 規則

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference and
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation

FCC Warning

Changes or modifications not approved by Fitbit, Inc. could void the user's authority to operate the equipment.

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna
- Increase the separation between the equipment and receiver
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device meets the FCC requirements for RF exposure in public or uncontrolled environments.

FCC ID: XRAFB205

カナダ：カナダ産業省 (IC) 規制

This device meets the IC requirements for RF exposure in public or uncontrolled environments.

Cet appareil est conforme aux conditions de la IC en matière de RF dans des environnements publics ou incontrôlée

IC Notice to Users in accordance with the current RSS GEN:

This device complies with Industry Canada license exempt RSS standard(s).

Operation is subject to the following two conditions:

1. this device may not cause interference, and
2. this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device

Cet appareil est conforme avec Industrie Canada RSS standard exempts de licence (s). Son utilisation est soumise à Les deux conditions suivantes:

1. Cet appareil ne peut pas provoquer d'interférences et
2. Cet appareil doit accepter Toute interférence, y compris les interférences qui peuvent causer un mauvais fonctionnement du dispositif

IC: 8542A-FB205

EU (欧州連合)

Simplified EU Declaration of Conformity

Hereby, Fitbit, Inc. declares that the radio equipment type Model FB205 is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:

<http://www.fitbit.com/safety>.

Déclaration UE de conformité simplifiée

Fitbit, Inc. déclare par la présente que les modèles d'appareils radio FB205 sont conformes à la Directive 2014/53/UE. Les déclarations UE de conformité sont disponibles dans leur intégralité sur le site suivant: www.fitbit.com/safety.

Dichiarazione di conformità UE semplificata

Fitbit, Inc. dichiara che il tipo di apparecchiatura radio Modello FB205 è conforme alla Direttiva 2014/53/UE. Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo Internet: www.fitbit.com/safety.

Vereinfachte EU-Konformitätserklärung

Fitbit, Inc. erklärt hiermit, dass die Funkgerättypen Modell FB205 die Richtlinie 2014/53/EU erfüllen. Der vollständige Wortlaut der EU-Konformitätserklärungen kann unter folgender Internetadresse abgerufen werden: www.fitbit.com/safety.

Declaración UE de Conformidad simplificada

Por la presente, Fitbit, Inc. declara que el tipo de dispositivo de radio Modelo FB205 cumple con la Directiva 2014/53/UE. El texto completo de la declaración de conformidad de la UE está disponible en la siguiente dirección de Internet: www.fitbit.com/safety.



安全の説明

この装置はテスト済みであり、次のEN規格の仕様に規定される安全認定に準拠しています:
EN60950-1:2006 + A11:2009 + A1:2010 + A12:2011 + A2:2013.

周波数情報

周波数帯域 (MHz) : 2400-2483.5

帯域内での最高 EIRP 電力値 (dBm) : 8.89

オーストラリアおよびニュージーランド



中国

部件名称	有毒和危险品					
	铅 (Pb)	水银 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴化苯 (PBB)	多溴化二苯醚 (PBDE)
Flyer Model FB205						
耳机	○	○	○	○	○	○
电子	X	○	○	○	○	○
电池	○	○	○	○	○	○

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制

O: 表示该项目中涉及的所有物料, 其包含的有害物质的含量低于 GB/T 26572. 标准的限制要求.

X: 表示该项目中涉及的所有物料中至少有一种, 其包含的有害物质的含量高于 GB/T 26572. 标准的限制要求.



メキシコ



IFETEL: RCPFIFB17-1223

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. Este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada

日本



201-170816

オマー

ン



フィリピン

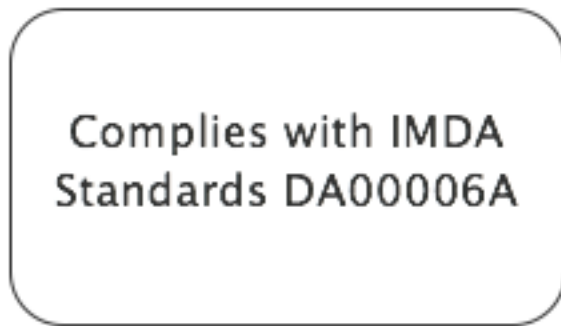


セルビア



И 005 17

シンガポール



南アフリカ



TA-2017/1910
APPROVED

韓国

클래스 B 장치 (가정 사용을 위한 방송 통신 기기) : EMC 등록 주로 가정용 (B 급)으로하고, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다
얻을 이 장치.

“ 해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다. ”

台湾

Fitbit Model FB205



CCAF17LP0980T3

注意！

依據 低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。

低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

Article 12

Without permission, any company, firm or user shall not alter the frequency, increase the power, or change the characteristics and functions of the original design of the certified lower power frequency electric machinery.

Article 14

The application of low power frequency electric machineries shall not affect the navigation safety nor interfere a legal communication, if an interference is found, the service will be suspended until improvement is made and the interference no longer exists. The foregoing legal communication refers to the wireless telecommunication operated according to the telecommunications laws and regulations. The low power frequency electric machinery should be able to tolerate the interference of the electric wave radiation electric machineries and equipment for legal communications or industrial and scientific applications.

アラブ首長国連邦

TRA Registered No.: ER57014/17

Dealer No.: 35294/14

©2017 Fitbit, Inc. All rights reserved. Fitbit および Fitbit ロゴは、米国およびその他の国における Fitbit の商標または登録商標です。Fitbit のより詳細な商標登録のリストは <http://www.fitbit.com/legal/trademark-list> で閲覧できます。記載されているサードパーティーの商標はそれぞれの所有者の財産です。